

1 団体名

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)

2 団体概要

俳優や演奏家などの実演家団体でつくる公益社団法人で、1965年に設立。実演家の権利処理を行う「CPRA」と新宿「芸能花伝舎」を拠点にし、全国での実演芸術の振興、子どもたちが芸術に触れる機会づくりなど、実演芸術がもっと身近で豊かになる社会を目指しています。

3 部活動改革に関わる取組

(1) 花伝舎クラブ

芸能花伝舎において、地域文化クラブの試みとして、小学4年生から中学生を対象に、長唄三味線、日本舞踊、落語の全てを体験する半年間のプログラムです。平日の放課後に行い継続して行い、最後に発表会をもちました。



(2) キッズ伝統芸能体験

東京都・東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、芸団協が共同で主催する、伝統芸能の領域ではかつてない規模の東京ならではの事業です。謡・仕舞、狂言、長唄(三味線、小鼓、篠笛)、三曲(箏曲、尺八)、日本舞踊など多彩なジャンルから各自一つを選び、抽選を経て、約半年間の稽古を体験します。国立能楽堂や浅草公会堂など「伝統芸能の殿堂」で発表会を行います。講師もプロ、発表会会場もプロ仕様という「本物体験」をコンセプトにしています。2025年度で18年目を迎え、9月末から順次、稽古開始予定です。



(3) 花伝舎利用団体によるレッスン

芸能花伝舎利用団体による、バレエやカポエイラなど、日々多彩なジャンルのレッスン・稽古が行われています。



4 学校では体験できない芸術の新たな体験の試みを…

都内の各地域では学校では、触れることのない能楽、日本舞踊、長唄、落語など豊かな伝統芸能、演劇、バレエなど多様な芸術活動が息づいています。地域に目を向けて新たな発見、その可能性を試してください。

配布資料は、箏・三味線・尺八教授所の一例です。これらの芸能の部活動にご関心のある方は、まずは芸団協までご連絡ください。